

情報処理

7

【2011】 Vol.52 No.7 通巻556号



巻頭コラム 情報の海の泳ぎ方～原発事故から学ぶこと～
元村有希子

[巻頭言]
復興と再成長に向け情報処理技術が牽引を—会長就任にあたって—

[3.11大震災特別企画]
被災記:再生を目指して—大地震から50日
3.11震災後のメッセージ 第二弾

特集 アナログテレビ放送の終焉

- 解説 Watson:クイズ番組に挑戦する質問応答システム
まもなく訪れるC++0x
- 道しるべ ロボカップ道しるべ:ヒューマノイドリーグの歩み
- 教育コーナー ペタ語義:お手伝いいただけますよね?
ペタ語義:文系主体の地方私立大学での情報科教職課程と情報科教育法
ペタ語義:高等学校教科「情報」教員養成の実際
- コラム "I" 見聞録:Webインテリジェンスとインタラクション研究会
"I" 見聞録:第1回NII湘南会議:「グラフアルゴリズムと組合せ最適化」
- シニアコラム IT好き放題:日本語文章推敲支援ツールの今

● CONTENTS ●

編集長ブログ
blog-mag.ipsj.or.jp

《巻頭コラム》

情報の海の泳ぎ方～原発事故から学ぶこと～ 元村有希子

《巻頭言》

762 復興と再成長に向け情報処理技術が牽引を—会長就任にあたって— 古川一夫

《3.11 大震災特別企画》

765 被災記：再生を目指して—大震災から50日 白鳥則郎

768 3.11 震災後のメッセージ 第二弾

《特集》

アナログテレビ放送の終焉

774 0. 編集にあたって 山田 幸・長谷川亨

777 1. ハイビジョンからデジタルハイビジョンへ 羽鳥光俊

786 2. 地上テレビジョン放送のデジタル化への取り組み 辻 栄一

792 3. 地上デジタル放送の研究開発と海外展開 山田 幸

800 4. ISDB-Tmm 放送技術とサービス 山田 暁・松岡保静・萩原淳一郎・北原 亮

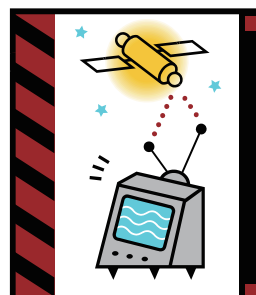
805 5. VHF-LOW 帯マルチメディア放送～アナログテレビ放送終了後の周波数有効利用に向けて～ 黒田 徹

811 6. 700MHz 帯を使った新しい ITS アプリケーション 屋代智之

819 7. デジタルテレビはどう変わるか～通信機能によるテレビの進展～ 加藤久和

825 8. デジタルケーブルテレビ関連技術およびサービス動向 宮地悟史

833 9. 新しいメディアとしての IPTV サービス 岸上順一



《解説》

- 840 Watson：クイズ番組に挑戦する質問応答システム 金山 博・武田浩一
- 858 まもなく訪れる C++0x 高橋 晶

《シニアコラム：IT 好き放題》

- 773 日本語文章推敲支援ツールの今 牛島和夫

《道しるべ：ロボカップ道しるべ》

- 850 ヒューマノイドリーグの歩み 荻野正樹

《教育コーナー：べた語義》

- 863 コラム：お手伝いいただけますよね？
久野 靖
- 864 文系主体の地方私立大学での情報科教職課程と
情報科教育法 和田 勉
- 868 高等学校教科「情報」教員養成の実際
西端律子

《コラム：“I” 見聞録》

- 874 Web インテリジェンスとインタラクション研
究会 土方嘉徳
- 879 第 1 回 NII 湘南会議：「グラフィカルゴリズムと
組合せ最適化」 神山直之・垣村尚徳

- 883 名誉会員の紹介
- 884 2011 年度功績賞
- 886 各賞表彰 (概要)
- 888 論文誌ジャーナル掲載論文リスト
- 889 英文目次
- 890 会員の広場
- 892 IPSJ カレンダー
- 894 人材募集
- 897 有料会告
- 898 有料会告について
- 899 アンケート用紙
- 900 編集室/次号予定目次
- 901 掲載広告カタログ・資料請求用紙
- 902 賛助会員のご紹介

- 会誌編集委員会
編集長
中島 秀之
担当理事
奥乃 博
河口 信夫
本号エディタ
新 麗
伊藤 毅志
位野木万里
猪俣 敦夫
柏野 邦夫
加藤 丈和
兼宗 進
小林 亜樹
佐藤 文明
高岡 詠子
宅間 大介
武田 浩一
辰己 丈夫
田村 大
塚本 昌彦
徳田 雄洋
中川 晋一
野田五十樹
長谷川 亨
松崎 公紀
松原 仁
真鍋 宏幸
宮崎 邦彦
山田 幸
山之内 徹
吉岡 信和
吉濱佐知子

- 編集スタッフ
後路 啓子
木村 結
綿谷 亜樹

<p>複製される方へ</p> <p>本会は下記協会に複製に関する権利委託をしておりますので、本誌に掲載された著作物を複製したい方は、同協会より許諾を受けて複製してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複製はその必要はありません(社外頒布用の複製は許諾が必要です)。</p> <p>権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒 107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619</p> <p>なお、著作物の転載・翻訳のような複製以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。 また、アメリカ合衆国において本書を複製したい場合は、次の団体に連絡してください。</p> <p>Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600</p>	<p>Notice for Photocopying</p> <p>If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.</p> <p><All users except those in USA> Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC) 6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan E-mail: info@jaacc.jp Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619</p> <p><Users in USA> Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600</p>
--	---